

## 本誓寺 瀬踏み阿弥陀如来 瀬踏みの阿弥陀如来絵画

長野県長野市松代町

長野県長野市松代町



本誓寺瀬ぶみ阿弥陀



本誓寺瀬ぶみ阿弥陀絵

建保元(1213)年、親鸞聖人が善光寺に参られ法然上人から教えて頂いた念仏の教えを確かめていらっしゃった時のことです。4月15日夜の事、秘仏の善光寺如来が聖人の夢枕に立たれて「わたしは、苦しみ悩みの尽きない全ての衆生に空しい人生を送らせまいとお念仏を伝えてインド、朝鮮を渡ってこの日本に来ました。汝親鸞よ、そなたはこの如来の心を明らかにして人々を導いて、お浄土に渡そうとしています。それは私の本懐です。その道をお進みなさい、その証として私の姿を刻みなさい」聖人は歓喜され今見たお姿をお念仏とともに刻まれました。そして笈の中に納め自信を持って常陸の国に赴こうとされました。時折しも雨が続き千曲川の船便も絶えてしまいました。何日か経って今日もまた

駄目かと岸に佇んでいると、何処からともなく容姿端嚴の童子が現れ、暫くの間答の後聖人の手を引かれ魁となって河を渡り始めました。ところがどうでしょう。増水甚だしい河の上を恰も陸地を歩くようにして難なく向こう岸に着くことができました。それと同時に童子は「わが住処、道しるべせんこの方へ、本の誓いの御寺へぞ行け」と西を指差し笈のなかに消えてしまいました。不思議に思って笈を調べますと善光寺で感得された如来さまはびしょ濡れではありませんか。善光寺如来は濁世煩惱の波浪を越えて、一切衆生を浄土に至らしめる大悲から聖人を導いて瀬踏みの奇瑞を顕わされたのでしょうか。爾来、本の誓いたる寺、本誓寺の本尊として安置されています。